

我孫子市教育委員会 あて

我孫子市立我孫子第四小学校学校運営協議会

令和4年度 第4回 学校運営協議会 会議報告書

このことについて、我孫子市学校運営協議会規則第12条の規定について、次のとおり報告します。

(令和5年3月7日実施)

| 主な議事 | 発言者 | 協議・発言等の概要 |
|--|-----|--|
| <p>白山中区協議会后各校に分かれて 学校評価アンケートについて</p> | 校長 | <p>小中一貫教育の推進について、今年度文言を学校運営協議会で確認をして、アンケートを実施した。保護者と教職員との回答結果に開きが見られた。小中一貫教育の内容を（ ）に記載したが、周知が足りていないと感じる。</p> <p>家庭学習について、保護者の評価が低い。児童と教職員は宿題などの提出物で評価しているのに対し、保護者は、取り組む姿勢まで含めて評価していると考えられる。</p> <p>相手を思いやる気持ちの育成、きまりやルールを守っているかという項目について、肯定的な回答が多いが、高学年児童の否定的な回答が多かった。きまりやルール、目標が単なる押し付けになっていないか検証し、安心安全な学校生活につながっていると実感を持てるようにしなければならない。</p> <p>あいさつの項目について、教職員と保護者の評価が低い。校内では、よく挨拶しているが、校外では、できていないと考えられる。地域でも挨拶ができるようにしていきたい。</p> |
| | 委員 | <p>小中一貫教育に関しては、周知が難しい。同じ敷地で行う小中一貫教育ではないため、浸透するまでに時間がかかりそうだ。</p> |
| | 委員 | <p>小中一貫というイメージができない。学校が発信するだけでなく、保護者も情報を得る必要がある。</p> |
| | 委員 | <p>受験する家庭は、学園祭などがあって、その学校を知ったうえで入学をする。入学説明会などで9年間を通した教育課程の説明が必要かもしれない。また、グランドデザインを広報等で周知してもよい。</p> |
| | 会長 | <p>保護者にとっては、小中一貫教育の仕組みよりもどんなよいことがあるのかを周知していくほうがよいかもしれない。</p> |
| | 校長 | |

| | | |
|----------|----|--|
| 学校行事について | 委員 | <p>教員同士の交流は簡単にできるが、子供たちの交流は難しい。特に小中の交流が難しい。児童会役員がオンラインで交流はしている。</p> <p>カリキュラムをしっかりとこなしていくことが中学校へとつながると思う。</p> <p>教科書は差が出ない。それ以外の教科でしっかりとしたカリキュラムが必要である。</p> |
| | 委員 | <p>Abi ふるさと、ICT、English、キャリア等実際に指導しているが、保護者に周知理解が行き届かない。保護者としては知らなかった。中学校にもあるのか。教育ミニ集会の存在も知らないこともあるのでは。やはり周知の方法を考えていかなければならない。</p> |
| | 会長 | <p>知らない人にあいさつは難しい。大人でもそうだ。あいさつはコミュニケーションツールの一つなので、関係性がないとできない。</p> <p>保護者がしていないと旗振り当番の人から聞いたことがある。</p> |
| | 委員 | <p>6年生は校内でしっかりと挨拶してくれた。</p> |
| | 校長 | <p>地域の人全体までいかななくても、旗振り当番の人には挨拶できるようにしていきたい。</p> |
| | 教務 | <p>(スライドを印刷したものを使って、12月から3月までの学校行事について説明する)</p> |
| | 校長 | <p>船戸の森の会に協力してもらい、総合的な学習の時間を進めることができた。子供たちにとってももちろんよかったが、地域とのつながりも大切である。</p> <p>4年生の福祉体験では、福祉協議会の人々が25名も来てくれた。地域の方を招いての学習を続けていきたい。</p> <p>修了式・辞校式は我孫子市全体で3月24日に行う。</p> |

傍聴人 0人